

1 町のめざす将来像

「第五次南風原町総合計画」の将来像「こがねはえ さとともにつくる黄金南風の平和郷」の実現に向け、地域社会への愛着と誇り、そして自ら責任を持って暮らす町民が「ともに」個々の思いを表し、意見を交わし、夢や目標を実現していく、そのようなまちづくりを目指して諸施策を展開します。

その基本理念の「平和」、「自立」、「共生」については、町民平和の日を中心に、「平和」の尊さを願う町民の心を、国内はもとより世界へ向けて発信する平和なまちづくりに取り組むとともに、新たな時代の中で、「自立」した多様な人々が育ち集う、地域力のあるまちづくり、そして自然との調和、人と人のつながりを大切に「共生」のまちづくりをめざします。

黄金南風

いつの時代もあせることなく輝き続け、豊かな実りと繁栄をもたらす風の吹く南風原を表現

平和郷

先の大戦からの復興を踏まえ、恒久平和を願う南風原町を表現

「ともにつくる黄金南風の平和郷」としての発展

平和

自立

共生

安心戦略

成長戦略

コミュニティ

福祉

防災・治安

健康

子育て

教育

産業

環境

文化

まちづくり基本理念3つのポイント

平和

私たちの祖先が平和を強く願ってきた心は、今日でも人々に受け継がれています。世界の恒久平和を願うわがまち南風原の心を、国内はもとより世界へ向けて発信し続ける、平和なまちづくりをめざします。

自立

世界で活躍する人材を輩出してきた南風原町は、豊かな実りと繁栄をもたらすと云われ、私たちはその風土や精神を受け継ぎ、新たな時代の中で自立した多様な人々が育ち集う地域力のあるまちづくりをめざします。

共生

私たちの祖先は、恵まれた自然環境と調和しながら、暮らす知恵を築いてきました。また、人々はともに支え合い、団結して地域づくりを進めてきました。まちの様相が移り変わる中で、私たちは改めて自然と調和、人と人とのつながりを大切に共生のまちづくりをめざします。

未来へつなぐ愛・夢・安らぎ

～令和4年 施政方針～

はじめに

令和2年2月に沖縄県内初の新型コロナウイルス感染者が報告されてから2年が過ぎ、現在もオミクロン株の流行により再び町内でも多くの感染者が確認される状況となっています。このような中、町民皆様には長期にわたり行動の自粛、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の取り組みにご理解ご協力を賜り心より感謝申し上げます。これからも町民皆様には、マスクの着用・手洗い・換気・消毒など感染防止に努め、「新しい生活様式」の実践へのご協力よろしくお願ひいたします。本町は引き続き新型コロナウイルス感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援等を行います。

次に、私は平成30年5月の町長就任以来、一貫して平和憲法の理念を町政の場に生かしながら、未来へつなぐ「愛・夢・安らぎ」をスローガンに、7つの政策を掲げ町民の生活と福祉の向上、さらなる幸せを願いながら全力で取り組み、大方実現することができました。

はじめて町政の舵取りを担当させていただいた私の任期も、残すところ1ヶ月余りとなりましたが、山積する行政課題を解決するため、引き続き町民皆様をはじめ、議員各位のご支援・ご理解を得ながら、職員力を最大限に発揮し、ともに邁進してまいります。

南風原町長 赤嶺正之



健全な行財政運営について

「第四次南風原町行政改革大綱」が令和4年度で最終年度になることから、引き続き「行政改革大綱実施計画」に定めた具体的な取り組み事項を推進し、効率的な行政運営に努めるとともに、これまでの取り組みを評価・検証し、更なる行政サービスの向上を目指し「第五次南風原町行政改革大綱」を策定します。

また、第三次財政健全化計画につきましては、町民皆様のご理解・ご協力により着実に財政状況が改善されております。健全化計画も令和4年度が最終年度となりますが、社会情勢等の状況の変化に柔軟に対応しながら、健全で持続可能な財政運営に努めます。

予算編成について

令和4年度の予算編成は、これまで申し上げた施策に重点を置き、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、子ども子育て支援、教育環境の整備、各種福祉サービスに重点的に予算を配分し、各施策を推進するために幅広く予算を計上しています。

一般会計
予算総額

158億1,556万4千円

(対前年度比
10億7,836万9千円、
7.3%の増)